

eラーニング「事前学習」修正状況の報告

資料1-1

平成30年1月19日

No	第4回企画検討会意見概要	対応状況等	参照資料
1	問題の難易度が揃うようにしつつ、テストバッテリーを充実させるとよい。	難易度が揃うよう配慮しながら、共通問題を64問、個別問題(警報避難)を45問作成した。	資料1-2
2	「補助教材」という名称は、教材が補助というイメージになってしまうため、名称を変更したほうがよい。「テスト」と「教材」のどちらからでも受講できるようにするとよい。 「教材」の受講は必須ではないが、「テスト」をパスすることは必須であることが分かるよう明示する必要がある。	「テスト」と「教材」が同等の扱いになるよう、「補助教材」の名称を「教材」に変更した。【①】 「テスト」は必須であることが分かるよう、「必須」の文字を追加した。【②】	資料1-3
3	テスト修了後に実施するアンケートで、有明の丘研修でどのようなことを学びたいかということも含めて聞くとよい。	受講者への「事前アンケート(設問2)」で質問済み。	-
4	事前学習に必要な時間の目安が分かると取り組みやすい。所要時間を表記した方がよい。	テストにかかる時間は個人差があるため、共通問題①、②、個別問題(警報避難)がそれぞれ「何単元」あり、1単元につき1問をクリアーする必要がある旨を明示した。【③】 <追加文> ・「共通問題①(8単元)」「共通問題②(7単元)」「個別問題(警報避難)(7単元)」の3つを順番に実施してください。 ・単元ごとに1つの問題がランダムに出題されます。全単元とも「正解」するまで繰り返してください。	資料1-3
5	ログインしている時間(事前学習にかかった時間)や、時間帯のログを取得するとよい。	共通問題①・②、個別問題(警報避難)ごとに「初回のアクセス日時」(入口)と「アンケートの回答日時」(出口)は把握することが可能である。	-

No	第4回企画検討会意見概要	対応状況等	参照資料
6	<p>ログをどう評価し、研修をどのように改善したらよいのかが知りたい。</p> <p>受講者や講師からできるだけ多くの意見が訊けるとよい。</p>	<p>eラーニングによる事前学習の効果等を把握するために、研修終了後に、受講生・講師に対してアンケート調査を実施する。</p> <p><受講生への設問案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング「事前学習」で学んだことは本研修を受講するうえで役に立ちましたか？ ・事前学習の取組に対する自由意見 <p><講師への設問案> 【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修前に提供したログ情報は、研修資料の作成や講義をするうえで役に立ちましたか？ ・事前学習の取組に対する自由意見 	-
7	<p>「×」の問題で、何が間違いなのかがはっきりしない問題は出題しない、あるいは解説を丁寧にするるとよい。</p>	<p>何が間違いなのかが分からないような問題は見直す。あるいは、何が間違いであるのかが分かるように、解説を改善する。</p>	資料1-2
8	<p>「教材」(BookRoll)の利用を促すために、重要な箇所にマーカーを引いたり、質問することが有効であることが分かるような文章を入れてはどうか。</p>	<p>eラーニングへの導入画面に、教材を利用することへのメリットを伝える文章を追加した。【④】</p> <p><追加文></p> <p>皆さまが分かりにくいと思った箇所やご質問の内容は、あらかじめ講師に提供させていただきます。より効果的な研修になるよう、教材を積極的に活用してください。</p>	資料1-3
9	<p>受講者がシステムの操作に迷わないよう、ボタンなどの機能について丁寧に説明すべき。</p>	<p>一時保存などの機能は全て確認し、システムの使い方がわかる資料を作成する。</p>	-
10	<p>受講者のほとんどはBookRollの使い方を知らない。使い方をしっかり理解してもらってから学ばせるようにしてはどうか。</p>	<p>システムの「使い方」のページへのリンクの場所が分かりにくかったため、リンクの場所を改善した。【⑤】</p>	資料1-3